

見晴台自治会新聞

2025-5 号
 2025.10.15
 自治会
 事務局

「地域との絆を深め、いつまでもお健やかに」

見晴台敬老行事開催される

九月十五日敬老の日と前後し、見晴台でも敬老行事が行われた。見晴台町内在住の対象者に、自治会より敬老お祝いの品が届けられ、十四日(日)には、「自治会・町内会の輝く人材表彰」として、長年に渡り地域の活動や積極的なボランティアをされた二名を表彰する式典が、自治会館において行われた。

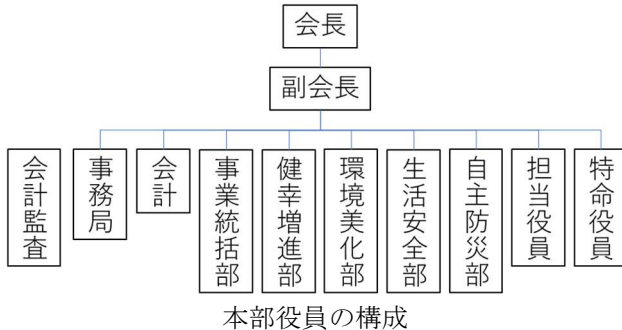
見晴台自治会では、満七十五歳以上の方を敬老お祝いの対象者として、この数年は自宅にお祝いの品を届けている。以前は対象者を一同に自治会館に招待し、敬老大会を開催していたが、近年対象者が増加し一同に会しての式典は困難となった。二〇二五年度も対象が三三一名となり、敬老大会式典はできないため、自治会役員が分担し最寄りの組の対象者のお宅を訪問してお祝いの品を届けた。対象者の方と直接会話をしたり、あるいは家族の方に様子を伺ったりして、地域との繋がりの浸透を図った。

「自治会・町内会の輝く人材表彰」は三島市自治会連合会の事業で、昨年までの「模範高齢者表彰」に代わり、年齢対象を広げて地域の活動に貢献している人を表彰する活動。見晴台からは、長年に渡り自治会長や連合会会長を務め、住民との絆づくりに多大な貢献をされた山下聖秋さん、自治会館正面の

鉢植えや花壇の手入れ、「ひまわり会」の活動を通じた公園や緑道の環境維持等、環境美化活動に尽力された斎藤アサ子さんの二名が自治会から推薦され、自治会館で表彰状と記念品が授与された。

自治会組織の紹介

今回は自治会組織全体の紹介をさせていただきます。総会資料や自治会規約に記載されているように、自治会組織には本部の役員、各組の役員(組長、自主防災部員、幹事の三名で以後組三役と表記します)、



本部役員の構成

護美ステーション単位の護美グループ責任者がいます。本部役員は現在総勢二十九名で自治会通常総会で承認されます。任期二年ですが留任される方もおり、例年十名程度が交代します。各組から万遍無く本部役員に参加していただくため、直近で本部役員がいない組の組長さんをお願いして、次年度の役員候補の方を選出させていただきます。

組三役は、任期一年で各組のルールに沿って選出されます。組長は組の代表、幹事は組長の補佐、自主防災部員は自主防災活動に関わる組代表です。

護美グループ責任者も任期一年で、ゴミステーション単位のルールに沿って毎年選出されます。

自治会活動は、通常総会にて承認された活動計画に沿って、本部役員が中心となり企画や運営を行います。毎月第一土曜日の夕方から行う役員会議にて企画の内容を審議。役員会議後に続いて行われる組長会議にて、役員会議の審議内容を組長に承認していただき実務を開始。また組長からの課題提起があればお聞きし、過去の例も踏まえ対応を検討します。つまり本部役員は実動部隊で、自治会員の代表者である組長に承認をいただき活動をしています。

一方、組長には組員の方のご意見をまとめたいただくため、必要に応じ組長会議にてお願いをすることもあります。また組三役、護美グループ責任者の方には、夏祭りや防災訓練等の大規模な行事で、本部役員だけでは手が足りない場合に、運営側のお手伝いをお願いしています。

自治会員の方へお願い

十一月になると、来年度の役員選出の活動が始まり、選出にご苦労される組長が例年数名いらっしゃいます。自治会員みなさんには平等に自治会運営に参加していただきたいため、何年かに一度はこれらの役員に選出されることとなります。役員としての活動することで一時の負担は増えますが、地域内で新しい知合いや仲間が増え、長い目で見れば日常生活の安心が増えるメリットもあります。各自治会員の方のご都合もあると思いますが、みなさん立場は同じとお考えいただきご協力をお願いいたします。